

## 平成30年HP 5月のきごころ通信 (先月の話題)



### 育て 内装の「万能」職人 技術の集中講座

- ・塗装工事会社のKMユナイテッドなど関西でオフィスビルや住宅の内装工事を手掛ける6社は、塗装や左官など幅広い作業ができる「多能工」の育成を始めます。
  - ・優秀な社員を指導役とし、内装に関わる作業を座学や実技を通じて教えます。
  - ・8月下旬から9月末まで1カ月の講座を開く予定。10人を募集。講習日は28日間で、朝から夕方まで教えます。受講料は無料。
- (2018年4月7日 日本経済新聞記事から抜粋引用)



### 建設業界、人材確保急ぐ 奥村組、全社でフレックス制へ

- ・建設業の7割近くの企業が従業員が不足。
  - ・建設業における55歳以上の割合は30%を超えています。
  - ・奥村組は、働く時間を自由に選べるフレックスタイム制を2021年までに全社で導入する目標。
  - ・日建連は2021年度までに施工現場を週休2日製にする働き方改革の方針を昨年発表。
- (2018年4月7日 日本経済新聞記事から抜粋引用)



### 建設資材、値上がり 鋼材や生コンなど 首都圏の再開発活況 五輪施設工事も本格化

- ・鋼材や生コンクリート、木材といった建設資材が値上がりしています。
  - ・東京五輪関連施設の工事が進む見込み。
  - ・メーカーの値上げ表明が相次ぎ、建設コストを一段と押し上げそう。
  - ・新日鐵住金は、流通市場向けのH形鋼を、2月契約分まで3カ月連続で引き上げを表明。
  - ・木材も荷動きが活発。旺盛な木材需要を反映し、住宅に使う国産針葉樹合板も値上がり。
  - ・輸送費上昇で計量形鋼メーカー各社は、追加値上げを打ち出す方針。
  - ・生コン用ミキサー車の運転手も足りません。
- (2018年4月10日 日本経済新聞記事から抜粋引用)



## 遠出も安心、乗り物酔い対策

### 空腹・満腹避け 遠くの景色見よう

・乗り物酔いはなぜ起きるのでしょうか。自分の調節能力を超えた揺れを受け、平衡機能障害を起こしてしまうからです。

#### バスの座席は車輪ない中央部

- ・タイヤの前輪と後輪の間にあるバス中央部は比較的ゆれにくくなります。
- ・空腹と満腹いずれも要注意。空腹だと血糖値が下がり、満腹だと胃の揺れが大きくなり、酔いやすくなります。
- ・遠くの景色を見ると効果的です。
- ・手元でスマートフォンを操作したり、読書をしたりすると酔いやすくなるので注意。
- ・気持ちが悪くなったら目をつぶって頭を動かさないようにします。
- ・車酔いの大きな原因になるのは、運転手が小刻みにアクセルやブレーキペダルの操作を繰り返すから。無理な追い越しをせず、左車線を一定のスピードで走って車体を揺らさないことが重要です。
- ・同乗者は後部座席でもしっかりとシートベルトを締め、車の揺れを感じないようにすることも予防につながります。
- ・空気の入替えも大事です。エアコンの送風口に消臭剤を取り付けるのも手です。

#### 揺れ大きい船 波に身を委ねて

- ・船酔いは最初はひどくても、経験を積むうちに体が慣れてくることもあります。
- ・船内でも上層のデッキほど揺れやすいので注意。エンジンを搭載した船体後部の方が揺れにくくなります。
- ・オレンジなど柑橘系の果物を食べると酔いがひどくなる場合があります。
- ・写真を撮ろうとカメラをセッティングする細かい作業も酔いの大敵です。

(2018年4月21日 日本経済新聞記事から抜粋引用)

